

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2002年7月号

● 発掘!! あるある回路集

p.131 図1: 単3電池の+側は、スイッチSW1の左から2番目の白丸に接続する。

p.132 右↓10行目: 上記「ピー」音を

● 特集

p.168 表2(b): SMバスのタイム・アウトは 25 ms

p.169 図10(b): データ・バイト(ハイ) → データ・バイト(ロー), データ・バイト(ロー) → データ・バイト(ハイ)

p.173 図14: ▼は パワー・グラウンド, ▽は 信号グラウンド. C_1 と C_2 の-側および Tr_2 のソース電極は、パワー・グラウンドへ接続する。

● 高周波センスによるアナログ設計

p.235 図5-6の左上: $Y = G + jB$

● わかる!! アナログ回路教室

p.243 図7-1(c): 「高耐压のディブリーション…」は Tr_1 ではなく Tr_2 を指す。

p.247 図7-8: v_3 に関する式の右辺の分子は、 $R_S + R_L // (R_3 + R_4)$. v_{out} に関する式の右辺の右半分のみは、

$$R_L + \frac{R_1 R_5 (R_3 + R_4)}{R_1 R_4 / R_1 R_5 / R_2 R_3}$$

● 卓上ロジック・スコープの製作

p.252 表1: 表示はカラー STN 液晶

p.254 図4: 「液晶表示フェーズ?」の条件判断の三つ下の条件判断は、

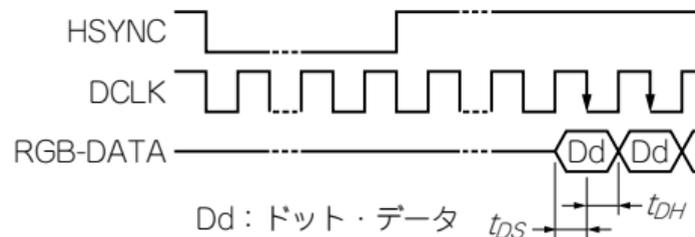
lhpos=H_MAX ?

p.259 図10(c)として下図を追加。

● テレビ・テニス・ゲーム PONG …

p.275 図1の右下: …オシレータで代用(ボード上のジャンパで切り換える)

p.280 リスト2: 上から18行目のコメントは active high



(c) 1ドットの波形タイミング